

# ～温室効果ガス(メタン)削減のための 稲わら搬出・秋鋤込みの取組み～ 北海道米の新たなブランド形成協議会



稲わらの収穫作業

## 【組織等の概要】

- 「北海道米の新たなブランド形成協議会」
- 事務局：ホクレン農業協同組合連合会  
米穀部 米穀総合課
  - 所在地：札幌市中央区北4条西1丁目3番地
  - 連絡先：011-232-6230
  - URL：[ホクレン農業協同組合連合会 \(hokuren.or.jp\)](http://hokuren.or.jp)

## ◇【取組の経緯と概要】

- ◆ 農林水産業において2050年までにCO2ゼロエミッション化、化学農薬・化学肥料使用量の低減、有機農業の取組拡大を目指す。
- ◆ 「北海道米の新たなブランド形成協議会」は、「ゆめぴりか」のブランド米としての価値向上には、良質米の生産に加え、新たな付加価値として環境への取組も重要であることから、令和4年度から温室効果ガス(メタン)の削減のため、収穫後の稲わらの搬出・秋鋤込みを励行。

## 【今後の展望】

- 生産・出荷基準に当取組の励行について、令和4～6年の年次毎の実施率目標を設定。
- 令和5年産に向け、具体的な対策を協議し、実施率80%の達成を目指す。

### 稲わら搬出と秋鋤込みの実施率目標

令和4年産	令和5年産	令和6年産
70%	80%	90%

- 将来的には稲わらの搬出、秋鋤込みを実施している生産者、JAの原料を仕分けして集荷し、「ゆめぴりか」のブランドカアップに向けた販売手法の検討を進めたい。

## 【取組の結果】

- 令和4年産での稲わら搬出・秋鋤込みの実施率について「あんしんネットGAPシート」等を用い、調査を実施。
- 調査結果については全道の「ゆめぴりか」での実施率が69%となり、令和3年産よりも上昇し、目標としていた70%をほぼ達成。

年産	搬出	秋鋤込み	搬出+秋鋤込み
4年産	13%	56%	69%
3年産	5%	46%	51%



チゼルブラウによる秋鋤込み